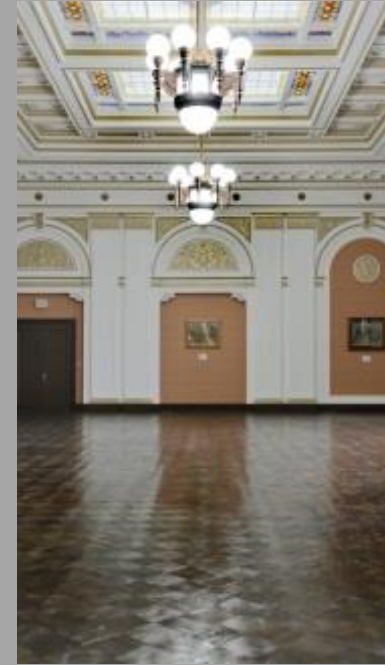


## 庁舎施設その他

- ・大阪府庁本館正庁の間
- ・大阪府立北大阪高等職業技術専門学校
- ・大阪府家畜保健衛生所
- ・大阪府西大阪治水事務所
- ・大阪府立南大阪高等職業技術専門学校



### (本館概要)

- 所在地 大阪市中央区大手前二丁目
- 建築面積 約6,400平方メートル
- 延床面積 約34,000平方メートル
- 構造・階数 鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上6階建地下1階
- 工事期間 大正12年5月から大正15年10月
- 増 築 昭和30年(西館3階)  
昭和34年(西館4・5階)

### 正庁の間改修工事

- 設 計 株式会社類設計室
- 施 工 株式会社大林組
- 請負金額 42,730千円
- 工事期間 平成23年6月から平成23年12月

### 大阪府庁舎本館

現在の府庁本館は三代目で、大阪城西側にあった陸軍用地の払い下げを受け1926年(大正15年)10月31日に完成しました。建物設計は懸賞募集による全国から81通の設計競技(コンペ)で、平林金吾・岡本馨両氏の共同設計が採用されました。庁舎の総工費384万2,600円は、当時の大阪府一般会計の年間予算規模約2,200万の約18%にあたる大事業でした。外観意匠の基調は19世紀末のセセッション(分離派)にあり、当時の格式的な伝統様式に対し、直線を用いて合理性を求めたデザインとなっています。また、明治末期から昭和初期に建設された府県庁舎の中でも壮大であり、鉄筋コンクリート構造を積極的に導入したモダニズム建築の先駆けとなりました。大正時代を彷彿とさせる歴史的な建造物である庁舎は、現在も使用されている都道府県庁舎の中で最も古い建物です。

### 正庁の間

正庁の間は、かつて年末年始の行事や人事発令などの式典に使用されていた部屋で5、6階の2層吹抜け空間です。近年は庁舎が手狭になったため、執務室として使用されていましたが、内装の劣化も進んでいたことから、2011年(平成23年)に竣工当時に近い姿に復元改修を行いました。室内は大正時代を彷彿とさせる壮麗な装飾レリーフが全面に施され、天井(3面構成55平方メートル)や東窓(3箇所)のステンドグラスからの光が彩りを添えています。



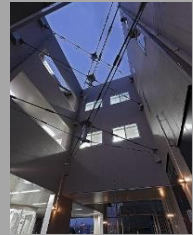
- 所在地 枚方市津田山手二丁目
- 敷地面積 14,041平方メートル
- 建築面積 6,253平方メートル
- 延床面積 10,400平方メートル
- 構造階数 北棟 鉄筋コンクリート造 地上4階建  
南唐 鉄骨造 地上3階建  
附属棟(駐輪場・ごみ置場)  
鉄筋コンクリート造 平屋建
- 工事期間 平成23年10月から平成25年2月
- 設計 株式会社東畑建築事務所
- 施工 株式会社竹中工務店
- 請負金額 1,543,584千円

### <意匠・景観計画>

①敷地特性を活かした意匠、②建築条件から考えるべき意匠として以下の6つの手法を景観計画の軸とし、建築計画の基本方針のテーマでもある「ものづくりの場ひとつづくりの場」の理念を重ねあわせ、デザインテーマを「技術と個性を育む、丘の上のまなびや」としています。

#### (6つの手法)

- ①敷地の特性を活かした意匠 … 津田サイエンスビル
  - ・地区内の中心施設として存在感を示す
  - ・技術の集積地を表現する「端正な表情とフォルム」  
「テクニカルな要素と材料」
  - ・背景の山並みと呼応する「スカイラインの創出による自然との調和」
- ②建築条件から考えるべき意匠 … 北部校らしさ
  - ・他の技術専門校とは異なる意匠要素
  - ・一定のボリュームを軽減する「個性を表現」、「面の分割と層での変換」
  - ・ものづくりの場、ものづくりを学ぶ場として機能を素直に表現するかたち



- 所在地 泉佐野市りんくう往来北
- 敷地面積 1,111平方メートル
- 建築面積 582平方メートル
- 延床面積 1,409平方メートル
- 構造階数 鉄骨造 地上3階建塔屋1階
- 工事期間 平成21年3月から平成22年1月
- 設計 株式会社大阪山田守建築事務所
- 施工 株式会社ニュービルド
- 請負金額 255,885千円

家畜保健衛生所は畜産行政の最前線機関であり、安全・安心で良質な本府畜産物の安定供給のため家畜伝染病予防や家畜衛生対策指導を行っています。

平成22年、鳥インフルエンザ、牛海綿状脳症(B鉄骨E)、病原性大腸菌O157、サルモネラ等の動物由来感染症対策の拠点として、公立大学法人大阪府立大学りんくうキャンパス(生命環境科学域獣医学類)に隣接した場所に、より綿密な官学連携のため、この施設を再編整備しました。

施設の整備にあたっては高度なバイオハザード対策用設備を設置したことにより、動物由来感染症のみならず、近年、国内で発生し畜産業界や国民生活に多大な影響を及ぼした口蹄疫、C鉄骨F(豚コレラ)等についても、迅速かつ的確な診断・鑑定を行うことが可能となっています。

なお、近年は海外からの家畜伝染病の侵入危機が課題となっており、その監視体制の強化に努めています。



- 所在地 大阪市西区江之子島二丁目
- 敷地面積 4,871平方メートル  
(津波・高潮ステーション敷地含む)
- 建築面積 2,321平方メートル
- 構造階数 鉄筋コンクリート造 地上2階建
- 工事期間 平成18年6月から平成19年6月
- 設計 八千代エンジニアリング
- 施工 株式会社SANPOU
- 請負金額 176,495千円

本事務所棟は、旧事務所の老朽化に伴い現地建て替えを行ったものです。外観については、水をイメージさせるガラス・金属パネルをバランスよく用いて、「津波防災の砦」となる施設として力強い自然のイメージを象徴的に表現しています。

治水事務所の併設される展示棟は、津波・高潮の恐ろしさを模型等を用いて、体感できる施設です。



- 所在地 和泉市テクノステージ二丁目
- 敷地面積 26,953平方メートル
- 建築面積 9,366平方メートル
- 延床面積 11,411平方メートル
- 構造階数 管理棟 鉄筋コンクリート造 地上3階建  
実習棟 鉄骨造 平屋建
- 工事期間 平成16年12月から平成18年1月
- 設計 株式会社東畑建築事務所 大阪事務所
- 施工
  - 第1工区 大末・竹内特定建設工事共同企業体
  - 第2工区 大容・大勝 特定建設工事共同企業体
- 請負金額
  - 第1工区 974,768千円
  - 第2工区 922,514千円

高等職業技術専門学校を再編整備し、堺校・松原校を統合して和泉テクノステージに建設しました。

建物は明るい雰囲気創出に努め、管理棟の玄関エントランスホールに吹き抜けを設け、教室は全て南面に配置、実習棟も自然光を最大限取り込んだ計画とした。全面道路沿いは花木を植え、建物外周部は、外部からの視線の緩衝帯となる様に樹木を配置し、周辺の山並みとの調和に努めました。